

大阪維新の会

維新プレス 堺市議団号外

堺

市議会議員団

本年も
納税者が納内得できる政治を
目指して議会運営に臨みます

2025年万博の活力を堺へ！



2025年万博の開催地が大阪市の夢洲に決定しました。ここで医療やスポーツ、健康長寿をテーマに世界中から最先端の技術や知識が集まり刺激し合うことで、日本の将来の産業構造も大きく変わるかも知れません。万博の効果は一時的イベント的な集客効果に留まらず、その後の社会イノベーションにも大きな効果をもたらします。さらにはここで刺激を受けた堺の子ども達が将来どのような進路を選ぶのか…夢は尽きません。大阪維新の会堺市議団は2025年万博の開催を応援し、その果実をでき得る限り堺に持ち込むための議論を進めます。

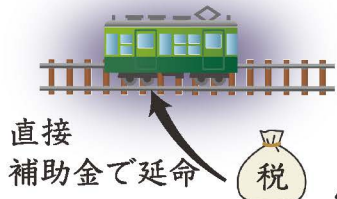
大阪維新の会 堺市議団の政策 堺再生の戦略

持続可能な財政運営 補助金の見直し

阪堺線（ちんちん電車）に50億円も税金を投入して延命をするのではなく、自立した経営ができるように人が集まるまちづくりを進めます

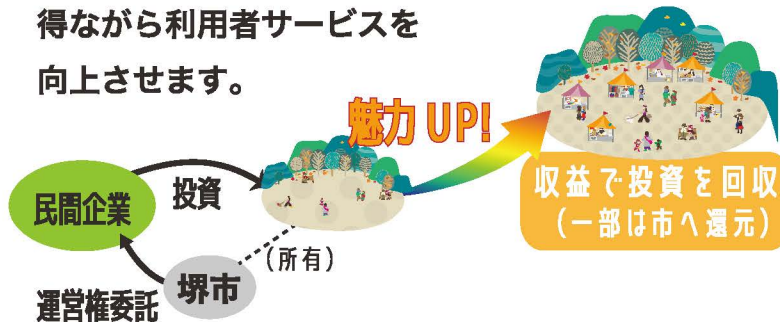
補助金がないと再び**経営難**

乗客が増え**自立経営**



行政に民間活力の導入

これまで行政が税金を使って維持してきた公園などの公共施設を民間事業者に運営を任せ、市は収益を得ながら利用者サービスを向上させます。



子育て世帯を呼び込む投資

幼児教育の無償化や中学校での全員給食など他の市ではすでに実現されている政策を実行し、堺市に子育て世帯を呼び込むことで、街を活性化します。



今年こそ賑わう年に
して欲しいなあ…

人口流出が止まらない堺市！

去年は… **衝撃の** 人口流出が全国1719市町村中 **ワースト2位に**

前年度ワースト
10位から
さらに転落





これからの議論

中心市街地の活性化



今の堺市の中心市街地には10年間ほとんど動きがなく、今後の計画の実行にもさらに20年かかるとのこと。将来においてどのような街づくりを進めるのかの明確なビジョンと、それを実現する実行力が全く欠けています。大阪府市は万博誘致の意思決定からわずか4年でそれを実現させました。堺でも維新市議団として中心市街地の活性化に向けて、交通網の整備も含むグランドビジョンで人・モノ・金・情報・企業が集まるまちづくりを進めていきます。

教育環境の充実

堺市の将来を支える子どもたちの教育環境の充実が維新の会の最重要政策です。まずは近年頻発する異常な酷暑から子どもたちの命を守るため、学校特別教室と体育館へのエアコン設置を進めていきます。さらには他都市で実現している塾代助成や温かい中学校給食の全員給食を実現します。



大阪市との連携強化



現在大阪市内には大勢の観光客が訪れ、飲食、宿泊、買い物などに推計1兆円を超える経済効果をもたらされていますが、その効果を堺で実感することはほとんどありません。堺単独の政策ではなく、大阪市や周辺市町村と連携する中で新たな交通網を整備し、観光客が堺に訪れるような観光施策を実施していきます。

おでかけ応援バス

今のお出かけ応援バスは月1回も利用しないという方が52.7%と半数以上を占めます。折角の制度もおでかけしたくなる場所がなければ意味がありません。高齢者の皆様に健康で活発な生活を送っていただけるよう、バス代の補助だけでなく、各区の賑わいづくりとセットで議論を進めていきます。



維新市議団は市民との公約である報酬2割削減を、条例の否決後も自主的に実践し、削減総額の3,032万円を被災地に寄付しました。

今一度、身を切る改革の議論を

堺市に限らず、今後全国の自治体で少子高齢化が進展し、住民サービスを維持するための財源が不足していきます。今の堺市は政令市の看板とは裏腹に国の財源(地方交付税)補填を前提とした財政運営を続けていますが、全国的に財政難が進む中でいつまでも国の補填を受け続けられる保証はありません。大阪維新の会

堺市議団はこれまでも議会で国の補填を前提としない「堺のことは堺でできる」財政運営を目指して行政の無駄の徹底的な改革を主張し、その先鞭として政治家自らの厚遇を見直すべきとして議員報酬改革を打ち出しましたが、賛成する政党はありませんでした。今後も堺の将来を見据えてこの議論は継続していきます。

堺再生の鍵は " 大きな政策のビジョン " と 市民の皆さんが " 住んで安心できる街 " の実現!

輝く堺を取り戻すため、今年も精一杯皆さんの声を議会に届けます!

発行元: 大阪維新の会堺市議会議員団
〒590-0078 堺市堺区南瓦町 3-1 市役所内控室 TEL:072-228-7286 FAX:072-228-5902

公式 facebookはこちら!

